

## 日本国憲法の成立

### ・ 占領政策と日本

敗戦→連合国による占領政策

日本政府による検討

連合国内の世論

占領軍 (GHQ) の意向

→ GHQ 案の提示 (1946年2月): 「象徴」とはどこから来たのか?

### ・ 日本国憲法案の審議

金森徳次郎憲法担当大臣: 「あこがれの天皇」 → 戦前との断絶性や内容は曖昧に

GHQ の黙認

全国巡幸のスタート (1946年2月より)

## 皇太子教育

### ・ 学習院への進学

中等科・高等科への進学

「ご学友」との接触

### ・ ヴァイニング夫人 (1946年10月～50年12月)

天皇からの提案 / マッカーサー側近の提案

アメリカ人のエリザベス・グレイ・ヴァイニング (クエーカー) が家庭教師に

英語のみならず平和主義や世界像、家庭に関する教育も

- ・ 小泉信三（経済学者・元慶應義塾塾長）

ハロルド・ニコルソン『ジョージ五世伝』や福澤諭吉『帝室論』『尊王論』をテキストに

「君主」としてのあるべき姿

敗戦後の天皇制と国民との関係性

### **皇太子の置かれた環境**

- ・ 城山三郎『大義の末』（1975年、角川文庫）

現・一橋大学を訪問する皇太子の様子

- ・ 藤島泰輔『孤獨の人』（1956年、三笠書房）

「銀ブラ事件」の様子

### **参考文献**

- ・ 松尾尊允『日本の歴史② 国際国家への出発』（集英社、1993年）
- ・ 瀬畑源「象徴天皇制の形成と展開」（『日本歴史』第18巻、岩波書店、2015年）
- ・ 河西秀哉『明仁天皇と戦後日本』（洋泉社、2016年、第一章）
- ・ E・G ヴァイニング『皇太子の窓』（文春学藝ライブラリー、2015年、初版は1953年）